

YMCA News

11



もりおかワイズメンズクラブって何？



皆さんこんにちは。もりおかワイズメンズクラブ会長の三田です。ワイズメンズクラブって聞いて、皆さんは何の団体だっと思う方が多いと思います。歴史と現在の活動やYMCAとの関係について簡単に紹介をさせていただきます。

1922年に米国にて誕生し、1932年6月に日本に伝わってまいりました。今ではワイズメンズクラブは世界各国1,500以上のクラブがあり、25,000名以上のメンバーがいます。日本には80以上のクラブあり1,400名以上のメンバーがいます。東北には宮城県と岩手にあり、各地で奉仕活動・YMCAの活動を支援しています。

ワイズメンズクラブは各クラブの例会・部会や区大会など様々な会合があり、日本にある各クラブや世界のクラブとの交流会が行われています。また、ユース事業にも力を入れており、ワイズ主催でユースボランティアリーダーズフォーラムなど、全国のYMCAのリーダー達の交流と学びの場を設けるなど活発に活動しております。

もりおかクラブは現在13名のメンバーと共にYMCAを支援

するために、様々な活動に協力をしています。協力している活動としては、YMCAで行う復興支援活動への協力・チャリティーランへの協力・国際協力募金への参加・学生ボランティアリーダー育成への協力など様々な支援をさせて頂いております。また、ワイズの活動としては、月に1回の例会(第2土曜日18時30分～20時)や、活動していくための資金集めと地域奉仕のため、富士宮焼きそばの屋台を出店しファンド活動もしております。例会にボランティアリーダーを招待したり、逆にワイズが屋台を出店する時には協力頂くなど盛岡YMCAの学生リーダーとの交流もしています。また、最近には秘伝豆の収穫も一緒に行うなどしています。

もりおかワイズメンズクラブでは、一緒にYMCAの活動やリーダーたちの支援して頂けるメンバーを大募集中です。楽しく明るく元気なクラブ間違いなし。一度お話を聞いて頂けたらと思いますので、お気軽にご連絡下さい。会員一同ワクワクしてお待ちしております。

もりおかワイズメンズクラブ 会長 三田庸平

盛岡 YMCA の使命

私たち、盛岡 YMCA は、イエス・キリストによって示された生き方に学びつつ、豊かな自然と歴史的伝統に満ちた岩手の地で、こども、家族、地域とともに公正で平和な世界の実現を目指します。

1. こどもたちの個性を大切に、それぞれの夢や希望、生きる力を育みます。
2. 家族の絆といのちの大切さを深め合います。
3. 共に生きるために、異なった文化、多様な価値観と出会う場を提供します。

9月 ちきゅうと、あそぼう。～活動報告～



今回は9月25日(日)に、子ども18名、大学生ボランティア17名、スタッフ2名で外山森林公園に行き、芋煮を作る活動を行いました。

外山森林公園に着いてからは、グループで分かれて芋煮づくりを始めました。子どもたちは火付けを行うために、薪割りにも挑戦しました。初めは薪割りを怖がっていた子どももいましたが、リーダーと一緒に挑戦し、「割れたよ!」と嬉しそうに報告する様子が見られました。食材を切る場面ではグループの友達と分担し、食べやすいサイズを話し合ったり、普段の家でのお手伝いの話をしたりしながら、様々な食材との触れ合いを楽しんでいました。火付けをする際は、他グループに火付けのコツを教える子どももおり、全体で協力しながら芋煮づくりを進めることができました。



昼食時には、できあがった芋煮を全員が美味しく頬張っていました。おかわりを何度もしては「俺のグループの芋煮が一番美味



しい自信ある!」と言う子どももおり、全グループがそれぞれの作った芋煮を完食していました。昼食後は、グループで協力して、鍋や皿の片づけをスムーズに行うことができました。

午後のフリータイムでは、リーダーや友達

と思いつき体を動かしてのびのびと遊ぶ様子が見られました。虫取りに熱中し、カナヘビやバッタをたくさん捕まえる子もいれば、植物でブーケやアーチをつくって結婚式ごっこを楽しむ子もいました。芋煮を一からつくった達成感や、友達やリーダーと自然の中で大はしゃぎした思い出を得ることができた野外活動でした。

岩手県立大学 佐久間千夏(ピンポンリーダー)

[活動報告] 10月サンデースクール



10月23日(日)にYMCA向中野センターにて、子ども17名リーダー16名で10月サンデースクール「ハロウィンパーティー～ピニャータをつくらう!～」を実施しました。

子どもたちは様々な形に折り紙を切って貼ったり、紙コップやビーズを取り付けてみたり、色を塗って

カラフルにしてみたりするなど、試行錯誤しながら自分だけのピニャータを作りました。その後、魔女やお化け、カボチャなどのハロウィンらしい衣装をしたり、パーティールームを風船やテープで飾り付けたりしてパーティー準備をし、本格的なハロウィンパーティーを開催しました。ハロウィンパーティーでは、グループごとに話し合っ

て楽しみました。特に蜘蛛の巣くぐりぬけゲームはとても盛り上がり、部屋に張り巡らされたテープに触れないように避けながら、ゴールに置いてある飴を他のチームより多く手に入れようと競い合いました。

最後には、リーダーがあらかじめ用意していたピニャータを協力しながら一人一個ずつ割り、中から出てきたお菓子を拾って楽しみました。同じグループのお友達同士だけでなく、グループの垣根を越えて一生懸命応援し合う姿が見られました。最初から最後まで子どもたちの笑顔が溢れる活動となりました。



岩手大学2年生
石塚茉紘
(かっぱリーダー)

2022ウィンターキャンプのご案内



10月、岩手山で初冠雪が記録されました。11月になると冷たい空気に体を丸めてしまいます。ただ、毎年訪れる冬の匂いにワクワクを覚えるのは私だけでしょうか。初雪にワクワクするのはみなさん一緒だと思っています。盛岡にもついにやってきました。スキーシーズン!

盛岡YMCAは今年も「スキーキャンプ」を行います。今回の宿泊キャンプは1回のみですが、この1回に「楽しさ」と「素敵さ」をギュッと詰め込みます!盛岡YMCAの元気いっぱいリーダーたちが、このスキーキャンプで子どもたちと楽しむため、真剣に全力で話し合っています。参加する子どもたち一人ひとりを思い描きながら、どうやって仲良くなるか?どんな遊びをしようか?みんなに伝えたいことをどうやって伝えようか本気で考えています。

スキーキャンプではスキーの上達はもちろんのこと、リーダーや仲間と数日間生活を共にするため、生活やグループを意識することも目的としています。だからこそYMCAのキャンプはYMCAにしか生み出せない価値があります。全力でスキーをする、全力で遊ぶ、全力で食べる、全力で寝る、全力で笑う、そんないろんな楽しいが詰まったスキーキャンプに参加してみませんか!皆さんの参加をお待ちしています!!



そして、2022年度の盛岡YMCAは「日帰りスキー教室」も行います。「スキーが上手になりたいな。」「まだまだスキーがしたいな。」「思いっきり雪山を満喫したいな。」などなど、理由は何でもOK!冬が大好きなリーダーたちと一緒に遊びましょう!!

【ダイナミックスキーキャンプ】

日程:2023年1月7日(土)~1月9日(祝)

場所:安比高原スキー場

参加費:会員56,000円 一般57,000円

【日帰りスキー教室】

日程:2月5日(日)、2月19日(日) いずれか若しくは両日の参加が可能です

場所:安比高原スキー場

参加費:15,000円 ※2月5日と19日両日参加の場合は、それぞれに参加費がかかります

※日帰りスキー教室は内部会員のみ対象となります。

ウィンターキャンプ担当 東森聡





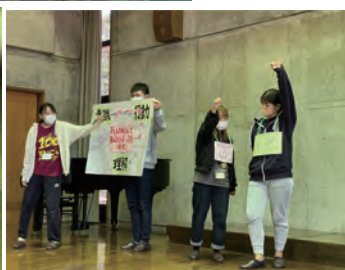
9月30日(金)～10月2日(日)に東京YMCA山中湖センターにて第34回ユースボランティアリーダーズフォーラムが開催されました。今年は「今、ボランティアリーダーに求められていること」をテーマに東日本のユースリーダー約30名が集まり、基調講演やプログラムに参加し学びを深めていきました。

盛岡YMCAからは2名のリーダーが参加しました。普段は別々の場で活動をしている私たちユースリーダーですが、バスの中やグループタイムで交流を深め、リーダーに求められていることについて、より具体的に話し合いをすることが出来ました。活動の幅や経験年数など環境が異なる様々なリーダーがいた中で、リーダーとして子どもたちに何ができるのかなどの答えをそれぞれのグループなりに導きだしていきました。

グループタイムだけでなく、湖畔でのビッグカヌーのプログラムやキャンプファイヤーを通して、プログラムの面白さや楽しさを再認識したり、あそびの盛り上げ方を学んだりなど、YMCAの魅力を感じることが出来ました。

最後には、リーダーに求められていると考えたことをグループごとに発表しました。「子どもたちにとって居心地の良い場所を作ること」や「子どもの気持ちを理解し枠にとらわれない対応をすること」など、リーダーに求められていることに一つの答えはなく、すべてがリーダーや子どもたちにとって大切なことであるという結論を出しました。世界には楽しいことがあふれているということ子どもたちに伝えていくために、リーダーとして今後も盛岡YMCAで活動に励んでいきたいと思えます。とても貴重な経験をさせて頂いたことに本当に感謝しています。

岩手大学教育学部 赤川由芽(リボンリーダー)



こんにちは!岩手県立大学盛岡短期大学部の小田島綾音です。リーダー名はびよんです。私ともう1人のリーダーはなまはるは9月23日から9月25日まで熊本YMCAで行われた全国YMCAリーダー研修会に参加してきました。初めて訪れる場所で、画面越しでしか会ったことなかったリーダーと

対面での交流が叶うということに、2人とも期待と少しの不安を抱いていたことを覚えています。

研修会では全国各地から集まった大学生リーダーと、講師としてお招きした社会学者の宮台真司さん、神戸YMCAキャンプディレクターの阪田晃一さんと一緒に「LOVE～みんなでわを広げよう～」をテーマに現代社会の現状や目指すべき社会について考えてきました。

1日目は「若者は劣化している。」というパワーワードから始まった講師の方々の対談を聞き、2日目では対談で学んだことを通して私たちリーダーが目指す社会について、3日目には研修を通して見つけたLOVEについて、グループディスカッションを行いました。初めて聞く単語も多く解釈に迷うこともありましたが、たくさんのリーダーと言葉を交わす中で理解を深めていくことが出来ました。



合間の時間には、場所は違えど同じ志を持ったリーダーとして、各YMCA特有の活動だったり、活動する中で嬉しかったことや悩んだりしたことなどを語り合いました。そしてこの研修会を終えた今、今度は自分たちのYMCAで何が出来るかを考え続けていきます。

岩手県立大学短期大学部 小田島綾音(びよんリーダー)



盛岡YMCAの活動では、大学生ボランティアリーダーの活躍が欠かせません。その一方で、あまり知られていないかも知れませんが、YMCAには、学生リーダーのようにYMCAが大好きでYMCAの活動を日々支えて下さっている社会人のボランティアの人たちの集まりがあります。それがワイズメンズクラブです。ワイズメンズクラブは世界各国に1,500のクラブがありますが、今回は、インドのデカン高原にあるハイデラバードのワイズメンズクラブを紹介しましょう。

ハイデラバードワイズメンズクラブ



1994年の冬、滋賀YMCAの主催するインド・スタディツアーに同行する機会がありました。スリランカ、南インドのトリバンドラムを経て、デカン高原の真ん中にある都市、ハイデラバードのYMCAを訪問しました。ちょうどクリスマスのもで、ハイデラバードのYMCAの体育館では、ストリートチルドレンを対象としたマジックショーが開催されていました。電気は自家発電で時々ブレイカーが飛んでしまいます。その都度真っ暗な中、100人以上の子どもたちの目が懐中電灯に照らされてキラキラ光っていたのが印象的でした。子どもたちへのクリスマスプレゼントはなんと、毛布!! 少しでもクリスマスを暖かく過ごしてもらいたいという願いからだそうです。

こうしたイベントを企画運営しているのは、全てワイズメンズクラブの人たちです。それもそのはず、ハイデラバードのYMCAのスタッフは総主事1名のみだからです。ご存知の通り、インド人の多くはヒンドゥー教を信仰しています。ハイデラバードのYMCAも総主事家族だけがクリスチャンで後の役員、ワイズメンズ、ボランティアは皆ヒンドゥー教徒の人たちでした。約10日間のインド滞在中のほとんどは、ワイズメンの皆さんの家にホームステイさせていただきました。YMCAの行事や、ワイズの例会で「アーメン」と唱えているワイズの人たちに「あなた方はヒンドゥー教なのに、キリストの教の神様にアーメンと言っても大丈夫なのか?」とたずねたら、「全然問題ないさ。こうした社会の課題に取り組む場所が他にないから、YMCAはとても大切なところなんだ。それにイスラムとヒンドゥーは仲があまり良くないのだからYMCAが入ってくれているのは好都合なのさ」とガハハと豪快に笑って語ってくれました。

インドの文化とワイズメンの懐の深さにびっくりした経験でした。

盛岡YMCA総主事 濱塚有史



今年も残すところ1か月程になりました。あっという間に寒さの厳しい日が増え、冬を感じる季節になりましたね。たくさん寝て、運動をして、温かいものを食べて免疫力をあげ、新型コロナウイルスやインフルエンザに負けない体をつくりましょう。

寒くなってくると、体がポカポカに温まる、手軽で美味しい鍋料理が食べたくなってきますね。これからの季節、鍋料理が食卓に並ぶ日が増えるのではないのでしょうか? 食卓を大勢で囲んで食べる鍋料理は、日本の伝統風景の様なもの。今回はこれから活躍する、鍋料理に注目してみました。

鍋は家族で食卓を囲み、火が通ったものから、家族の様子を気遣いながら自分の食べたいものを取って食べる。鍋料理は調理する時間が短く、準備も簡単ですが食べ終わるまでには普段の食事よりも時間はかかりますね。その分、余裕をもって家族とのコミュニケーションがとりやすく、楽しみながら、肉・魚・野菜をバランスよく摂取できます。

更に、鍋料理でよく使われている土鍋。実は、金属製の鍋よりも美味しく料理を食べられるのをご存知でしょうか。

食材に含まれる、うま味成分のグルタミン酸が最も活性化するのは35℃～55℃の間と言われており、ゆっくりと火を通すことで美味しい出汁が出てきます。土鍋を使うとゆっくりと過熱されていくので、金属製の鍋よりもうま味成分が多くなり、美味しくなります。

鍋料理は体の芯から温まる上、風邪の予防に役立つたんぱく質とたっぷりの野菜から粘膜を丈夫にし、免疫力を高めてくれるβカロテン、ビタミンC、ビタミンEなどの栄養素がしっかりと摂れます。

また、鍋料理の味付けはバリエーションが豊富で和風のものや中華風、洋風と様々あります。残った汁も無駄にせず、最後はうどんやラーメン、おじややリゾットなど「シメ」の楽しみもあり、最後まで美味しく食べる事が出来ます。

ぜひ、今年も鍋料理で家族と楽しい時間をお過ごしくださいね!



盛岡市内保育所調理師
ぶらいむ・たいむ向中野校メンバー保護者
藤原 留美

表紙の写真から



10月のサンデースクールの集合写真。
当日は、子どもたちもリーダーもハロウィン
先取りで思い切り楽しみました。

(2022年度10月新規会員) 敬称略

●2022年度 維持会員

伊藤 真太郎

最新情報はこちらでチェックできます! 「盛岡YMCA」で検索ください。



ホームページ



facebook



instagram